

## 優秀賞 根上中学校父母と先生の会

部活動に対する思いを生徒、保護者が文章でしっかりと表現。卒業生に向けた紙面でも保護者、先生が活字で励まし、応援をしている。写真も添えながら、言葉ではっきり伝えていて好感が持てる。全体を通してバランス感覚にすぐれた紙面といえる。



# 部活動

各部のキャプテン・主将・部長に、頑張ってきた部活動への思いを書いてもらいました。

## 野球部

「野球部で学んだこと」

キャプテン 寺西 成騎

僕は入部した時から、ずっと「全国制覇」を目標に頑張ってきました。しかしただ練習を頑張っても「全国制覇」はできません。一番大事なのは、野球をしている時間以外の時間です。僕たちは「野球も人間性も日本一」を常に意識しています。二年半という時間で野球の技術よりも大事なことを教えてもらいました。そのおかげで人として成長することができました。最後は今までやってきたことを信じて、目標である「全国制覇」をしたいと思っています。

母より

入部してから、それぞれに悩み苦しむ野球から逃げたくなった日もあったでしょう。でも、仲間がいてくれたからお互いに励まし合い乗り越えてくることができましたね。一人一人の存在がチームを支えてくれました。父母たちの元気の源はみんなの



笑顔です。最高の笑顔を期待しています。

## ソフトボール部

「キャプテンになって」

キャプテン 瀧本 かのん

私はソフトボール部のキャプテンになって、みんなを引っ張る大変さ、まとめる大変さなどを学ぶことができました。最初キャプテンとしてみんなを引っ張っていくのは心配でしたが、先生、コーチ、チームのみんなが助けてくれたお陰でここまで来れたと思います。これからも大変なことがいっぱいあると思うけれど一生懸命みんなを引っ張って行こうと思います。みんなと一緒にソフトボールができるのもあと少しになりましたが、チーム全員で目標を達成できるように頑張ります。

母より

キャプテンを任せてもらいキャプテンとしての苦労や喜びなど貴重な経験をさせてもらえたと思います。いつも力になってくれる先生、コーチ、そして素直な仲間、感謝し次の目標を達成できるように頑張ります。そして仲間と一緒にソフトボールを楽しんで下さい。



## 男子ソフトテニス部

「部活動での思い出」

キャプテン 中谷 慧聖

僕は男子ソフトテニス部に入って楽しかった事や大変な事がありました。キャプテンをやっている事、やりたい事がつたわらない事もあったけど、仲間や先生に助けてもらったことが一番うれしかったです。この部活は、明るく楽しい部活動でした。ブロック大会では、一人一人が今まで、練習してきた成果を出しきり、最後には、「楽しかった。」と、終わるように全力でプレイしてきたいです。

母より

キャプテンになって、楽しい事や大変な事が沢山あったと思います。いい経験にもなりました。いい経験にもなりました。周りの仲間や先生方にも助けてもらえたから頑張ってきたんだと思う。仲間の大切な感謝の気持ちをこの先も忘れずにね。最後の試合、自分に悔いのないように頑張れ!!



## 女子ソフトテニス部

「部活動を思い返して」

キャプテン 佐々木 朋花

私にとって部活動は、中学校生活の中で一番好きな時間です。その理由は、何よりテニスをすることが楽しいからです。走るのは苦手でつらい練習もあるけどうまくプレー出来た時は、最高に気持ちが良かったです。また、大切な仲間が出来ました。部がまとまらず困った時はみんなが助けてくれて嬉しかったです。私は、テニス部のキャプテンをし、仲間達や先生方のお陰で色々な経験をすることが出来ました。ブロック大会では、気持ちを一つに良いプレーができるように全力で頑張ります。

家族より

キャプテンとして部活の事で悩んだり、涙したり、一生懸命取り組む様子が感じられました。部活が好きで充実した時間を過ごせたのは、仲間の存在、先生方の支えがあったからだと思います。周りのみんなに感謝する事を忘れず、これまでの経験を生かして更に成長していく姿を応援していきます。頑張ってください。



## ハンドボール部

「仲間」

キャプテン 大佛 恭祐

僕は部活動を通して学んだことがたくさんありました。その中でも一番学んだことは仲間でもある後輩の大切さです。三年生は僕一人だったので試合をするにも練習するにも後輩がいたからここまでできました。後輩に感謝しハンドボールで学んできたことを忘れずそれを活かしていきたいです。

母より

キャプテンになった時は、みんなを引っ張っていかける心配でしたが、なんとかやっていくことができました。残りわずかな部活ですが、悔いの残らない様に精一杯がんばって一試合でも多く勝って下さい。応援しています。



## 男子陸上部

「二年間で感じたこと」

キャプテン 西山 巧祐

今年で三年目の部活動で感じたことは、感謝です。一つ目は、支えてくれた親への感謝です。大会の時は、朝早く起きて弁当を作ってくれたり応援してくれているからです。二つ目は、指導してくれた顧問の先生、顧問の先生への感謝です。いつも厳しく指導してくれたからです。三つ目は応援してくれた皆さんの先生方への感謝です。残り一年もないけど、いろいろな人に感謝の気持ちを忘れずに日々練習していきたいと思っています。

母より

キャプテン二年目の今年、最上級生という自覚を持ち頼もしい姿になった我が子の成長をとてもうれしく思います。これも先生や仲間が支えてくれたお陰です。感謝の気持ちを忘れず、残り少ない部活動生活を送って下さい。応援しています。



## 女子陸上部

「努力の継続」

キャプテン 川島 萌生

私は陸上を通して、努力を継続することや仲間の大切さを学びました。陸上は一瞬の努力では記録が伸びないスポーツだと思います。だから、努力を継続することが大切です。継続するには、仲間と互いに励まし合いながらともに力を付けていくことが必要だと思いました。個性豊かな人が多くまとめるのが大変だったけれど、みんな私についてきてくれました。あと少しの時間を大切に、それぞれの目標に向かって頑張ります。そして陸上で得たことを後の人生に活かしていきたいです。

家族より

部活動もあと少しの時間となりました。最初は訳がわからずとてあえず競技をしていました。が、少しずつ自分で考えて目標を持つて取り組む姿勢を感じていました。そしてキャプテンになって自分だけではなく全体をまとめていく大変さなど色々な経験もできたと思います。最後まで、厳しく、楽しく頑張ってください。



## 男子バレー部

「仲間」

キャプテン 坂本 祐晟

まず、僕たち三年生は三人という少なさもあり、必ず試合をする時には、二年生の力が必要でした。だから、二年生には感謝しても足りないです。サポートをしっかりとってくれて助かりました。

また、保護者の方々も、裏での練習試合の準備などもしてくださりありがとうございました。僕は部活動を通して、仲間を信じるのが大事だということ。この思いを忘れず、目標達成を目指して頑張ります。

母より

運動が苦手だと思っていたのに、バレー部に入部した時は驚きました。練習や試合や、そしてキャプテンとしての責任や気遣いなど、たくさんの素晴らしい経験が生まれました。最後の大会も楽しみなが、目標に届く様に最後まであきらめず挑んで下さい。



## 女子バレー部

「声」

キャプテン 中田 香乃

私はキャプテンとして声を一番大切にしてきました。号令をかける時、練習や試合をしている時など様々な場面で声を出し続けてきました。ですが、自分自身、声が出ない時もありました。人数が多い中、なかなかまとまらない時がありました。その時私は一人で抱え込んでいました。ですが、チームメイトが声を出して助けてくれた事が何度もありました。

私は部活動を通して、声でみんなをまとめる力をつけることができ、チームメイトの心の温かさを感じました。

キャプテンの大役、お疲れさまでした。三十一名をまとめる苦労があったとは思いますが、弱音を吐かずやっていく姿を頼もしく感じました。

バレーボールの技術もさることながら、チームワークの大切さを学ぶことが出来たと思います。残りの中学校生活も明るく、チームワークで乗り切ってください。

